

高異常域管理血清

パソノルム[®] H Pathonorm H

Batch No. 1103147

パソノルム[®]Hは安定性の高い凍結乾燥された管理血清で、患者血清の臨床化学分析の際、高異常域用のコントロールとして特別に企画されたものです。

—特 長—

1. 冷暗所で長時間安定です。
2. 透析などの処理はしておりませんので微量元素、蛋白、ポリペプチド等を含んでおり、一般血清と同じ条件下で分析できます。
3. 異常域での \bar{X} -R管理の際のコントロール血清として最適です。
4. 容易に溶解し、澄明で濁りはありません。

—使 用 法—

1. バイアルのゴムキャップを静かにはずし、正確に精製水 5 mLを加えます。
2. ゴムキャップをして、泡立てないように混合し完全に溶解します。
3. 完全溶解後は一般血清と同様に扱います。

—安 定 性—

溶解後は、 -20°C で凍結保存すれば各成分とも最低 1 ヶ月間安定です。

—保 存—

2 ～ 8 $^{\circ}\text{C}$ 保存

[取扱い上の注意]

本品は、HBs抗原陰性、HIV抗体陰性、HCV抗体陰性を確認した血清から調製されておりますが、ご使用の際は感染の危険のあるものとして、検体と同様に十分ご注意の上お取り扱いください。

製造元  **SERO**

輸入元 **積水メディカル株式会社**
東京都中央区日本橋三丁目13番5号

パソノルム® H Pathonorm H

◇コレステスト®, クオリジェント®, ピュアオート®, クリニメイト®, オートセラ®による参考測定値

Batch No. 1103147 2012年1月

項 目	測 定 原 理	単 位	参考測定値
A L B	B C P改良法 (ERM-DA470k/IFCC準拠)	g / dL	0.8 ± 0.1
	B C G法 (アナセラムALB・TP標準液使用)	g / dL	4.3 ± 0.6
	B C G法 (ERM-DA470k/IFCC準拠)	g / dL	4.3 ± 0.6
A L P	J S C C標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	1119 ± 145
A M Y	6-N3G 5 C N P基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	507 ± 76
	6-N3G 5 C N P基質法 (実測K値)*	I U / L (37℃)	697 ± 105
	Gal-G2-CNP基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	626 ± 94
	Gal-G2-CNP基質法 (実測K値)*	I U / L (37℃)	582 ± 87
P - A M Y	抗体阻害法・Gal-G2-CNP基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	627 ± 107
B I L	アゾビルビン法	m g / dL	4.6 ± 1.0
	酵素法	m g / dL	5.2 ± 1.2
D - B I L	アゾビルビン法	m g / dL	1.8 ± 0.2
	酵素法	m g / dL	0.8 ± 0.1
C A	O C P C法	m g / dL	12.3 ± 0.7
	酵素法	m g / dL	12.6 ± 0.8
C H E	3,4-ジヒドロキシベンゾイルコリン基質法 (酵素キャリブレータープラス)	I U / L (37℃)	Low
	p-ヒドロキシベンゾイルコリン基質法 (酵素キャリブレータープラス)	I U / L (37℃)	Low
C H O	酵素法	m g / dL	287 ± 20
F - C H O	酵素法	m g / dL	58 ± 4
C K	J S C C標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	427 ± 47
C K - M B	抗体阻害法	U / L (37℃)	398 ± 44
C R E	酵素法	m g / dL	3.91 ± 0.51
	ヤッフエ法	m g / dL	4.0 ± 0.5
F E	フェロジン発色法	μ g / dL	187 ± 24
	ニトロソP S A P法	μ g / dL	256 ± 33
γ - G T	γ-グルタミル-CNA基質法: JSCC標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	146 ± 16
G L U	ヘキソキナーゼ法	m g / dL	277 ± 30
A S T	J S C C標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	160 ± 19
A L T	J S C C標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	117 ± 14
I P	フィスケサパロー変法	m g / dL	7.6 ± 0.9
L A P	G S C C勧告法準拠試薬 (実測K値)	I U / L (37℃)	61 ± 7
L D	J S C C標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	310 ± 28
	S F B C勧告法準拠試薬 (実測K値)*	I U / L (37℃)	705 ± 63
M G	キシリジルブルー法	m g / dL	3.5 ± 0.3
N E F A	酵素法	μ E q / L	693 ± 83
P L	酵素法	m g / dL	343 ± 41
T G	酵素法: 遊離グリセロール消去法 (グリセロール準拠)*	m g / dL	126 ± 11
	酵素法: 遊離グリセロール消去法 (JSCC勧告法準拠)	m g / dL	135 ± 12
T P	ビウレット法 (アナセラムALB・TP標準液使用)	g / dL	8.8 ± 0.5
	ビウレット法 (セロノルム®ヒューマン, セロノルム®マルチキャリブレーター使用: AACC法準拠)	g / dL	9.2 ± 0.5
U A	酵素法	m g / dL	9.4 ± 0.7
U I B C	フェロジン発色法	μ g / dL	284 ± 37
	ニトロソP S A P法	μ g / dL	265 ± 34
U N	酵素法: ウレアーゼ/GLDH法	m g / dL	67.5 ± 7
	酵素法: ウレアーゼ/LED・UV法	m g / dL	66.1 ± 7
胆 汁 酸	酵素法 (アクアオート カイノス TBA試薬)	μ mol / L	123 ± 42
N a	日立電解質自動分析装置	mmol / L	162 ± 5
K		mmol / L	6.6 ± 0.3
C l		mmol / L	115 ± 5

測定法は弊社検査薬の基本操作に従っております。

*海外のご使用施設への参考として記載しています。

J S C C標準化対応試薬およびJ C C L S標準化対応試薬は酵素キャリブレータープラスを検量物質に用いて測定しています。

その他の酵素活性測定用試薬でK Factorを用いて測定する項目については、検量係数 (実測K値) を求めて測定しています。

積水メディカル株式会社

東京都中央区日本橋三丁目13番5号